

目次

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦・看護人数…………… 408

第4表 その他の医療衛生関係従事者数…………… 408

第5表 病院の在院患者延数および病床利用率… 409

第6表 病院の新入院患者数および外来患者延数…………… 409

第7表 人口妊娠中絶件数…………… 409

第8表 食品衛生関係営業施設数…………… 409

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数…………… 410

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数…………… 410

第11表 環境衛生関係営業施設数…………… 410

第12表 公害陳情受付件数および処理件数…………… 410

第13表 結核予防法による健康診断状況…………… 411

第14表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況…………… 411

第15表 衛生検査延件数…………… 411

第16表 薬事関係業者数…………… 411

第17表 法定・指定伝染病患者数、罹患率および死亡者数…………… 412

第18表 届出伝染病患者数、罹患率および死亡者数…………… 412

第19表 性病・結核・らい・食中毒患者数、罹患率および死亡者数…………… 414

第20表 市郡別、年齢階級別死亡者数…………… 414

第21表 男女別、月別、死因別死亡者数…………… 416

第22表 年齢階級別、死因別死亡者数…………… 418

第23表 幼児、児童、生徒の平均体格…………… 420

第24表 幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高…………… 420

第25表 幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率… 421

第26表 摂取栄養量（1人1日当り）…………… 422

第27表 府県別医療施設関係者数…………… 422

第23章 司法・警察

記述…………… 424

図表…………… 425

第1表 登記数および登録税、手数料…………… 426

第2表 不動産および会社登記件数…………… 426

第3表 検察事件受処理人員…………… 428

第4表 少年被疑事件の受処理人員…………… 428

第5表 外国人被疑事件の受処理人員…………… 428

第6表 裁判所別、事件別刑事事件人員…………… 430

第7表 裁判所別、事件別民事事件数…………… 430

第8表 施設別受刑者入出所人員…………… 432

第9表 拘留所・刑務所別収容人員…………… 432

第10表 罪名別受刑者数…………… 432

第11表 年齢別、刑期別受刑者数…………… 432

第12表 少年院の入出所および収容人員…………… 434

第13表 少年鑑別所の入出所および収容人員…………… 434

第14表 人権侵犯事件の受処理件数…………… 434

第15表 出入国および外国人上陸数…………… 434

第16表 警察職員配置状況…………… 436

第17表 特別法令適反被疑者措置状況…………… 437

第18表 全刑法犯罪発生検挙月別状況…………… 438

第19表 犯罪原因別ならびに被疑者の職業、学力、生活状況…………… 438

第20表 職業別年齢層別犯罪少年数…………… 440

第21表 少年ぐ犯（不良行為を含む）行為補導人員…………… 442

第22表 財物の犯罪被害高および回復高…………… 444

第23表 所為、理由別自殺者数…………… 446

第24表 年齢階層別家出人数…………… 446

第24章 災害・事故

記述…………… 448

図表…………… 449

第1表 農業被害…………… 450

(1) 水稲被害面積および被害量…………… 450

(2) 麦類被害面積および被害量…………… 450

第2表 火元別原因別火災度数…………… 452

第3表 火元別覚知別火災被害状況…………… 454

第4表 月別市郡別火災状況…………… 456

第5表 交通事故法規違反別車両別件数…………… 458

第6表 当事者別交通事故件数、死傷者数、損害額…………… 460

第7表 交通事故法規違反者別件数…………… 460

第8表 海上事故発生件数…………… 461

第9表 都市別建築物災害…………… 462

第10表 第2室戸台風被害状況…………… 462

第11表 労働災害死傷者数…………… 464

第12表 都道府県別火災・交通事故・災害住宅数…………… 464

付録

市町村地域変遷表…………… 466

指定統計一覧…………… 473

大阪府統計刊行物目録…………… 474

各制単位換算表…………… 476

索引

第 1 章

土 地

第1章 土地

位置および面積

本府の極所の地名および経緯度をみると、まず極東は枚方市大字穂谷（東経135°45'）、極西は泉南郡多奈川小島（東経135°07'）、極南は同じく泉南郡多奈川西畑（北緯34°16'）、極北は豊能郡能勢町天王（北緯35°02'）となり、その直距離はそれぞれ80.5キロ、83.3キロに及んでいる。また本府はその大半を摂津平野、河内平野、和泉平野を合したいわゆる大阪平野におき、北部は京都府、東部一帯は生駒、葛城の両山脈をへだてて奈良県に接し、南部一帯は和泉山脈と境して和歌山県、西部では大阪市以北を兵庫県に、以南は大阪湾にのぞんでいる。昭和35年末現在における本府総面積は1,831.47平方キロメートルで、わが国46都道府県中最少のものとなっており、この地域内は昭和36年末現在で、大阪市をはじめとする26市ならびに20町2村にわかれている。

地勢および地質

葛城山脈は本府東南におこり、延々地を北にはせて生駒山脈と結び、金剛、葛城、信貴、生駒の諸山はこれに属している。また本府南部には和泉山脈があって支山脈が北東に走り、七越、横尾、天野の諸山が起伏し、北部では中国山脈の余勢南に伸びて能勢、箕面、龍王の諸山をようし、その姿はいずれも優麗で人に親しまれている。

淀川はその源を滋賀県びわ湖に発し、瀬田川、宇治川となって京都府を貫流、本府東北部に入り西に分流している。すなわち毛馬より南下して大阪市に入り、さらに分派しては堂島、土佐堀、安治、木津の諸川となり、一方、毛馬より西へは新淀川となって、三島郡三島町付近から分かれて兵庫県に入った神崎川とともに、大阪湾北部にそそいでいる。なお大阪市内には、これらの川を利用して古くから10数余の疎水路が設けられ一時は「水の都」とまでうたわれたが、近年に至っては汚染度を高めるのみでその用を余りなせず、逐次埋立てられ、現在では百間堀、東横堀、道頓堀の諸川が残っているにすぎない。

大和川は奈良県におこり、金剛山と生駒山の間を流れて府内に入り、南河内郡美陵町で石川と合流し、西に流れて大阪市の南部、堺市、松原市との間を縫って大阪湾に至っている。この大和川は、本府においては淀川に次ぐ大川であるが、河心は年とともに砂に埋まり浅瀬となって水運に恵まれない。またこのほか著名な川としては、石津、津田、近木等の諸川があるが、いずれも流域が短かく水運の便を欠いている。

池沼は山間の低地または平地に約1万6千ほど点在するが、多くは田圃灌がい用の用に供せられている。その中で規模の大きなものは久米田池（岸和田市）、狭山池（狭山町）、光明池（和泉市）がそれぞれ水面積40ヘクタール前後となり、その他は大海池（松原市）室池（四条畷町）の約17ヘクタールを筆頭とするにすぎない。

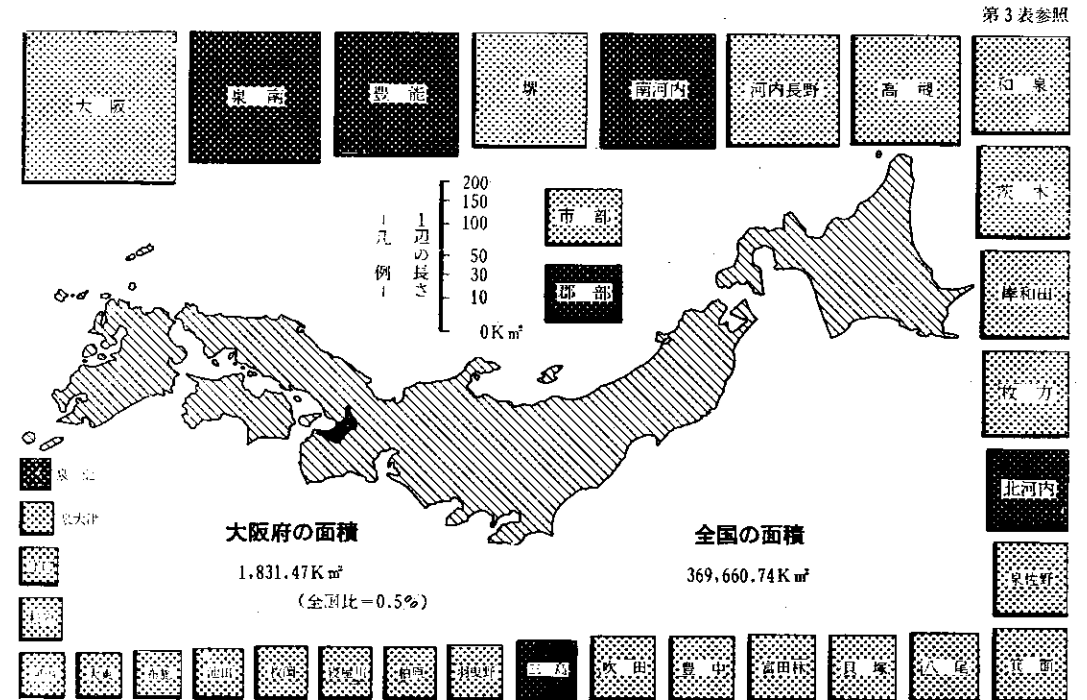
本府地質の最大面積を占めるものは、第4紀古層および第4紀新層であって、和泉沿海の地方は主として前者に属し、摂津南部および河内平垣部は後者に属している。またこれにつぐものは摂津中央部、河内東北端および和泉中央部より河内南部にわたる第3紀層ならびに河内、和泉の山間部の片麻岩および和泉の砂岩層とである。なお花こう岩は河内東北部の山間および摂津北部に分布し、秩父古生層は摂津北部においてみただけとなっているほか、雲英安山岩は大和川支流源川上流の河内の山間において、また石灰岩は摂津北部の山間でわずかにみられるにすぎない。

行政区域の変せん

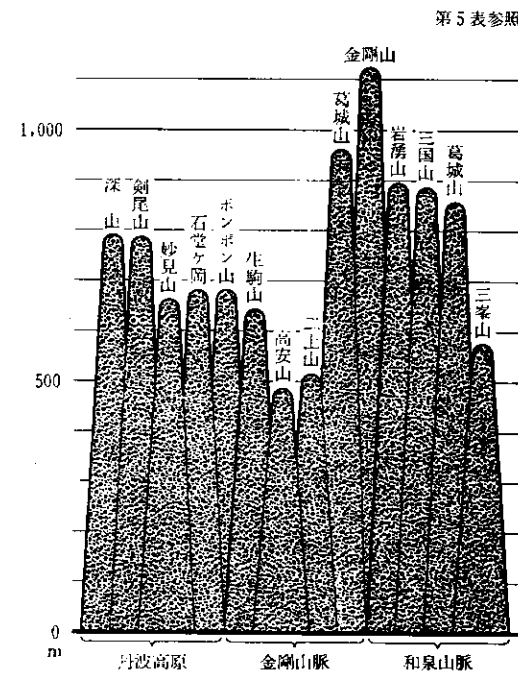
明治元年、新政府は大阪鎮台において摂津の一部と河内、和泉、大和の三国を管轄させたが、間もなく大阪裁判所と改称、摂河泉三国を管轄させ、しかも数か月にして大阪府、ついで堺県を設け、同2年1月にはさらに分岐して摂津県、河内県がおかれて府の管轄区域は大阪街のみとなった。しかし同4年11月地方府県の大改革により、摂津国における従来の諸府県を廃し大阪府が新たにおかれ、その後奈良県は廃されて堺県に合したが、堺県もまた同14年に大阪府に入り、同20年旧奈良県は大阪府から離れて県制をしき、これまで幾度となく統廃合を繰り返してきた行政区域も、ようやく落ちついた。

以後現在まで本府の管轄地は、昭和33年4月1日に京都府桑田郡樫田村が高槻市に、同じく亀岡市の一部が豊能郡東能勢村に編入されたほかは変更をみていないが、この間郡部では統廃合ならびにそれらによる新都市の設置をみて、明治22年市町村制施行時の2市のほか12町310カ村を数えた町村数は漸減、さらに昭和28年10月から施行された町村合併促進法により急速な統廃合をつづけ、36年末現在では前記のとおり、26市20町2村が存在するにすぎない。なおこの市数26は、全国約550市のうち北海道の27市につぐもので、全国第2位の数となっている。

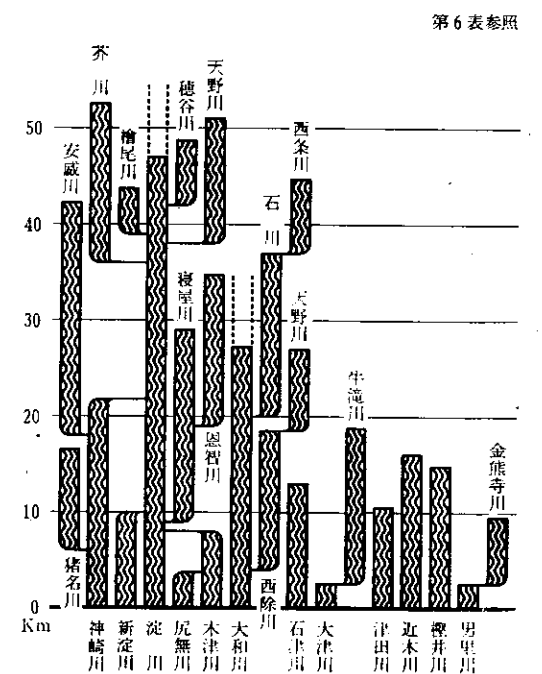
大阪府の位置と市郡別の面積



山岳の標高



河川の流長



第1表 面積と方位・距離

本表の面積は建設省国土地理院調べ、東西および南北の距離は旧陸軍参謀本部5万分の1地図から測定したもので多少の誤差がある。

Table with columns for Prefecture (府県), Area (面積), Direction (方位), Name (地名), and Distance (距離). Rows include Osaka Prefecture (大阪府) with area 1,831.47 km² and distances to various directions.

資料 大阪府総務部統計課。

第2表 行政区画

本表は昭和36年12月末日現在におけるものである。

Table showing administrative divisions (市郡) and their respective areas, including Osaka City (大阪市) and various surrounding municipalities.

資料 大阪府総務部統計課。

第3表 市区町村の面積

総面積は昭和36年12月末日現在の区域について、昭和35年国勢調査に使用されたものにその後の異動を建設省国土地理院調べによつて加減してあるが、*印については未調査のため大阪府総務部統計課で算出した概数である。なお、耕地は35年2月1日現在で実施した世界農林業センサスによるものである。

Large table detailing the area of cities, wards, and villages (市区町村) with sub-columns for total area and agricultural land (耕地).

資料 建設省国土地理院。大阪府総務部統計課。

第4表 税務署管轄区域

本表は昭和36年12月末日現在におけるものである。

Table mapping tax offices (税務署) to their jurisdiction areas (管轄区域) and the number of cities/towns/villages (市町村数).

資料 大阪国税局。

第5表 主要山岳

本表は建設省国土地理院5万分の1地図より、標高によりおもなものを掲載した。なお市郡名は昭和36年12月末現在、山頂への距離は慣務距離である。

Table listing major mountains (山名), their elevation (標高), and the distance to the summit (山頂への距離).

資料 大阪府総務部統計課。

主 要 河 川

本表は大阪府管内の主要河川を河川法適用河川ならびに同法準用河川について昭和36年4月現在で掲載した。

Table with 4 columns: 川名, 水源地名, 流末地名, 管内経過距離. Lists major rivers like 淀川, 阿波川, 大和川, etc.

資料 大阪府土木部河川課

第 7 表 主 要 池 沼

本表は昭和36年7月20日～8月4日の間に行われた「池沼調査」によるものである。

Table with 7 columns: 池名, 所属地, 堤高, 堤長, 水面積, 貯水量. Lists various ponds and reservoirs.

資料 大阪府農林部耕地課。

公 園

本表は大阪府下都市計画公園一覽表より主要なものを昭和36年12月末日現在で掲載した。

Table with 4 columns: 名称, 所在地, 施設内容, 面積. Lists various public parks and their facilities.

資料 大阪府土木部計画課。

第 1 表

市 郡 別

本表は各市町村保管の土地課税台帳又は土地補充課税台帳に登録された土地にかんする各年1月1日現
格の千円以下は四捨五入してある。

Table with columns for City/County (市郡), Total (総), Field (田), Tobacco (畑), and Residential (宅). Each category includes sub-columns for valuation (評価) and price (価格) in thousands of yen.

民 有 地

在の数字である。なお評価総地積の単位は反又は坪であるがhaに換算、評価総地積の小数点以下および総価
格の千円以下は四捨五入してある。

Table with columns for Land Type (地), Pond (池), Marsh (沼), Mountain (山), Forest (林), Plain (原), Field (野), Railway (鉄軌道), and Other (雑地積). Each category includes sub-columns for valuation (評価) and price (価格).

府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保管している土地台帳または補充課税台帳に登録された土地のうち、地方税法第5条第34条の規定により課税の対象となる土地にかんする各年1月1日現在の数字である。

府 県	総 数	田	畑	宅 地	山 林	牧 場	原 野	塩 田
昭和 32 年	14 914 537	3 000 053	2 692 450	530 434	7 009 922	171 773	1 505 927	3 978
33	14 954 698	3 003 550	2 697 019	537 302	7 013 202	171 138	1 528 193	4 294
34	15 005 131	3 011 453	2 714 411	547 941	7 017 626	174 379	1 535 039	4 282
35	14 776 421	3 009 452	2 690 179	548 117	6 867 709	176 437	1 481 917	2 610
昭和 36 年	14 890 489	3 038 814	2 687 541	590 805	6 886 659	171 629	1 512 155	2 886
北海道	2 582 373	188 711	681 321	30 654	912 578	153 461	615 648	-
青森県	331 219	70 863	74 706	9 921	96 344	2 602	76 783	-
岩手県	681 578	65 734	77 482	11 651	375 950	8 822	141 939	-
宮城県	289 554	100 848	43 988	12 504	123 275	-	8 939	-
秋田県	282 209	108 406	28 869	10 146	76 441	36	58 311	-
山形県	324 154	99 289	41 845	10 148	137 769	8	35 095	-
福島県	506 940	102 489	93 059	14 092	256 543	4	40 753	-
茨城県	399 323	95 173	131 297	21 813	135 411	130	15 499	-
栃木県	331 079	79 590	69 974	14 898	151 312	1 373	13 932	-
群馬県	259 929	35 263	86 586	13 076	98 024	1 279	25 701	-
埼玉県	241 461	66 513	90 857	21 980	57 491	-	4 620	-
千葉県	344 933	103 187	86 788	22 052	113 876	1 469	17 561	-
東京都	108 846	7 278	27 198	36 486	35 206	-	2 678	-
神奈川県	134 663	18 028	42 410	21 651	47 962	-	4 612	-
新潟県	472 952	178 168	55 856	18 313	203 480	-	17 135	-
富山県	140 883	76 341	10 853	7 921	42 931	-	2 837	-
石川県	158 135	52 939	16 612	6 604	78 037	-	3 943	-
福井県	170 003	47 313	9 177	5 415	105 517	67	2 514	-
山梨県	120 337	18 430	32 358	4 978	52 287	-	12 284	-
長野県	413 435	76 904	95 728	14 894	138 412	1 499	85 998	-
岐阜県	458 782	64 118	33 524	10 630	336 543	5	13 962	-
静岡県	419 435	56 455	71 552	17 413	248 394	33	25 588	-
愛知県	264 484	90 060	56 755	28 868	85 310	-	3 398	93
三重県	278 359	68 498	29 483	10 617	165 961	-	3 800	-
滋賀県	159 736	59 258	8 421	6 777	82 555	-	2 725	-
京都府	161 278	39 604	14 804	9 513	95 089	-	2 268	-
大阪府	89 338	37 993	8 632	21 563	20 257	-	893	-
兵庫県	425 685	99 390	18 883	20 725	278 849	-	7 152	686
奈良県	138 645	29 170	8 923	4 054	92 342	-	4 156	-
和歌山県	237 912	26 464	15 753	4 751	189 676	1	1 267	-
鳥取県	138 036	32 905	15 371	4 134	53 034	112	32 480	-
島根県	367 968	52 811	25 368	5 852	280 097	6	3 834	-
岡山県	318 665	85 341	32 285	11 380	185 234	-	3 881	544
広島県	424 186	71 112	30 396	12 028	307 419	1	3 106	124
山口県	280 812	69 429	20 955	11 582	172 931	1	5 870	44
徳島県	189 852	28 337	21 882	5 023	133 680	-	594	336
香川県	107 509	37 171	12 665	5 886	50 711	-	142	934
愛媛県	269 479	42 583	44 601	8 075	172 721	1	1 382	116
高知県	308 149	33 638	39 544	3 792	228 138	-	3 037	-
福岡県	254 151	102 582	31 459	23 024	70 912	3	26 163	8
佐賀県	135 344	52 607	17 183	5 308	36 881	-	23 365	-
長門県	164 628	31 516	51 944	7 777	58 440	-	14 951	-
熊本県	267 386	76 244	77 584	12 345	76 194	688	24 331	-
大分県	196 885	55 379	33 450	7 859	61 123	-	39 074	-
宮崎県	206 666	45 837	47 488	8 250	76 713	27	28 351	-
鹿児島県	333 113	58 845	121 672	14 382	88 609	1	49 603	1

第 2 章
気 象